

田植えで生産者と消費者が交流

一関市巖美町山谷地区で5月26日、同地区の都^ど里^り夢^む米生産振興協議会とJA、生活クラブ生協岩手が田植え体験交流会を行いました。都^ど里^り夢^む米生産振興協議会の主催で毎年開かれ、生活クラブ生協岩手の組合員や家族、関係機関約60人が参加。15[㍓]の水田に「ひとめぼれ」の苗を手で植えたほか、田植え機の乗車体験を行いました。佐々木守美会長は「安全・安心な米作りをしていることへの理解を深めてほしい」と期待しました。生活クラブ生協岩手の石井智恵子理事長は「生産者と一緒に田植えができたことは喜び」と笑顔を見せました。田植え後は、一関市巖美市民センター山谷分館で同地区で栽培された米のおにぎりと豚汁を食べながら、親睦を深めました。



夢中で苗を植える参加者



おにぎりを笑顔でほおぼる子どもたち